



学校のめあて

心豊かで  
たくましく  
いつも進んで学ぶ子

TEL 25-4450 [http:// www.isesaki-school.ed.jp/kitasvo/](http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasvo/)

## 人権集会がありました

11月25日(月)の13時25分から体育館で人権集会がありました。最初に、各学年の代表になった人権標語が発表されました。発表された人権標語を以下に紹介します。

1年	ありがとう まほうのことばで あいても えがお
2年	たすけあおう いっぽふみだす そのゆうき
3年	よりそいたい 友だちの気持ち 友だちの声
4年	わかり合おう わたしとあなたの ちがうとこ
5年	あいさつで みんなにとどけ 笑顔の輪
6年	慣れないで 傷つくことに 唯一無二のあなただから

この後、校長が人権についての話をしました。児童に話した内容を学校通信で紹介します。

これから人権についてお話しします。12月4日から12月10日までを人権週間と言います。そして、その最後の日の12月10日は「世界人権デー」とされています。それにちなんで、全国の学校では、毎年、12月のはじめのこの時期に人権週間というのを設けて、人権について集中的に勉強しています。北小では少し早く11月に人権の学習をしています。



校長先生は、皆さんにとって学校が楽しいところであってほしいと思っています。だから学校ではいじめなどは絶対あってはならないと思います。そのためには自分がされていやなことは人にしないことです。自分がされていやなこととはどのようなことでしょうか。悪口を言ったり、人をからかってみたり、また、変なあだ名をつけて笑ったりということなどです。また、今は学校外でSNSのラインなどで人の悪口を言ったりすることもあります。皆さんに聞きますが、このようなことを友達に対してやっている人はいませんか。もしやっているという人がいたら、このようなつまらないことはすぐにやめなさい。また、反対にこのようなことをされている人はいませんか。いやな思いをしている人は、すぐに先生や家の人に知らせてください。先生たちはすぐに相談にのり、問題が解決するように動きます。

では、なぜ、いじめなどがあるのでしょうか。人はみんな違います。顔、性格、そして考え方など、みな違います。むしろ同じ人は一人もいません。皆さんが一人一人の違いをきちんと認めることが大切なのだと思います。

さて、これから皆さんに熊本県に住む小学校3年生が書いた「とびばこ」という作文を紹介します。読みますので皆さんはこのクラスの人になったつもりで聞いてください。



私は、体育があまり好きではありません。なぜかというと 走るのもあまり速くないし 跳び箱や鉄棒や一輪車など、ほかの友達はできるのに、私だけなかなかできないのです。それに、みんなから笑われるのが何より悔しくていやだからです。今日の体育は跳び箱です。準備体操をして、みんな、跳び箱の用意を始めました。私はもう、逃げ出してしまいたい気持ちでいっぱいです。用意ができました。〇〇君から、次々に跳び始めました。いよいよ私の番です。跳んでみるとやっぱり失敗です。2回目も失敗してしまいました。3回目は、友達の時を見て、さっきとちがう跳び方をしてみました。だけど、やっぱり跳べませんでした。何回跳んでもお尻が跳び箱の角に当たってしまいます。初めは小さく聞こえていた笑い声が、どんどん大きく聞こえてきました。その時「笑うな！」と、大きな声が聞こえました。□□君です。体育館が一瞬 シーンと静まり返りました 私もびっくりしました。しばらくすると、「笑ってごめん」とか「がんばれ、がんばれ」「もっと勢いをつけると跳べるよ」とか言うみんなの声が聞こえてきました。私は思いっきり走りました。そして、手を強くつかしました。身体が高く浮いたと思ったその時、私は跳び箱を越えていました。やったあ、とうとうできたんだ。夢じゃないんだ。跳べたんだ。私はとても信じられませんでした。みんなの拍手が聞こえてきました。

という作文です。みなさんがこのクラスの人であったらどうしますか。みなさんは笑う人ですか。それとも「笑うな！」と注意する人ですか。また、「頑張れ！」と応援する人ですか。

最後に北小学校のだれもが「学校は楽しいな」と思う学校にするには どうしたらよいかを一人一人考えてみましょう

## 学校からのお願い

朝、お子さんを車で送ってこられる方は、学校、もしくは赤石楽舎の駐車場で降ろすようお願いいたします。学校の近くで乗り降りすることで、近隣の方々の迷惑になっています。一方で、送ってこられた保護者の方で職員駐車場に車を駐車することで、出勤してきた職員が駐車できないことがあります。職員駐車場の駐車は控えていただくようお願いいたします。